

ボランティア愛ランド北海道 2024in えべつ 開催要綱

テーマ 『～共につくり、共に生きるレンガの街から～』

1 目的

全道のボランティア実践者等が一堂に集い、ボランティア活動における協議を行うとともに、交流などを通してボランティア活動の推進を図ることを目的に開催します。

2 と き

令和6年9月28日（土） 12時00分～17時00分

3 と ころ

江別市民会館（江別市高砂6 TEL：011-381-6446）

4 主 催

北海道社会福祉協議会

5 共 催

江別市社会福祉協議会

6 実施主体

北海道社会福祉協議会 ボランティア部会

7 後 援（予定）

北海道、北海道教育委員会、江別市、江別市教育委員会、石狩地区ボランティアネットワーク協議会、北海道地域活動振興協会、北海道新聞社、北海道新聞社会福祉振興基金

8 参加対象

- （1）ボランティア実践者
- （2）ボランティアに関心のある一般道民
- （3）市区町村社会福祉協議会関係者
- （4）行政機関関係者
- （5）社会福祉施設・団体関係者
- （6）学生等

9 参加者

定員 800名 [先着順]

10 日 程

11:00	12:00	12:15	12:45	13:20	14:40	14:55	16:15	16:30	17:00
受付	アトラクション	開会式	道新ボランティア 奨励賞 贈呈式	記念講演	休憩 移動	分科会	休憩 移動	閉会式	

11 プログラム

- 11:00～12:00 受付
- 12:00～12:15 オープニングアトラクション 〈出演：文京台一輪車クラブ〉
- 12:15～12:45 開会式
- 12:45～13:15 第48回道新ボランティア奨励賞贈呈式
- 13:20～14:40 記念講演

- ・テーマ「共に生きる～ダウン症の書家翔子と共に生きて～」
- ・講師 金澤 泰子 さん（書家）



金澤 泰子 さん プロフィール

- ◆書家。ダウン症の書家・金澤翔子氏の母。明治大学卒。書家の柳田泰雲氏・泰山氏に師事。
- ◆東京大田区に「久が原書道教室」を開設。
- ◆ダウン症の書家・金澤翔子氏を産み育て、世界的な書家に導いた母として、書の師匠として注目を集める。
- ◆全国各地の行政、企業、各種団体などからの講演依頼は延べ1,000回を数え、テレビやラジオを中心に多数のメディアに出演。又、出版著書は30タイトルにのぼり多くの書物にて連載を持つ。
- ◆著書に「ダウン症の書家 金澤翔子の一人暮らし（2019 かまくら春秋社）」、「悲しみを力に（2019 PHP 研究所）」、金澤翔子 伝説のダウン症の書家（2017 平凡社）」他、多数出版。

○14:40～14:55 移動・休憩

○14:55～16:15 分科会

第1分科会	<p>テーマ「若者世代のボランティア参加を考える～参加の契機をどう与えていくか～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆発表①：「ジモ×ガク（学生地域定着自治体連携事業）について」 発表者：成田裕之さん（NPO法人えべつ協働ねっとわーく 事務局長） 発表②：「EBETSUto（エベツト）の取組み」 発表者：馬場航平さん（NPO法人みなと計画 コーディネーター） 発表③：「江別市内における学生ボランティアの取組み」 発表者：酪農学園大学の学生 <p>◆トークセッション「若者世代のボランティア参加を増やすためには」</p>
第2分科会	<p>テーマ「地域活動を通して、地域の活性化を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆基調説明「地域活動の理念と実践」 説明：佐藤誠一さん（NPO法人シェロクリ理事長） ◆実践発表「シェロクリの理念と活動内容」 「自治会での取組み～連絡や会費納入～」 「新たな担い手～若い世代へのアプローチ・シルバー世代のラインワークス活用の広がり」 発表：佐藤誠一さん、長岡慶一郎さん、今野美生さん （NPO法人シェロクリ） <p>◆まとめ：江別市社会福祉協議会</p>
第3分科会	<p>テーマ「令和6年能登半島地震の被災地支援活動について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆活動報告①「災害ボランティア活動に従事して～現場で思ったこと～」 報告：岸田 理さん（室蘭ボランティアネットワーク 代表／ 真宗大谷派 浄誓寺 住職） ◆活動報告②「被災地での支援活動の実際—技術系ボランティアの視点—」 報告：熊谷雅之さん（石狩思いやりの心届け隊 隊長） <p>◆ディスカッション ファシリテーター：宮本 奏さん（NPO法人きたのわ代表理事）</p>
第4分科会	<p>テーマ「もっと素敵にレクリエーション—実践—」 講師：南部広司さん（ケアレクリエーション倶楽部 代表）</p>

○16:15～16:30 移動・休憩

○16:30～17:00 閉会式（グランドフィナーレ）

12 参加申込について

(1) 参加申込方法

本要綱に添付の「参加申込書（EXCEL様式）」に必要事項を記入して、E-mailに添付し、事前にお申込みください。

| 参加申込E-mail |
d-vola@dosyakyo.or.jp

参加申込については、希望する分科会を第2希望まで記載ください。

なお、出来る限り地元の社会福祉協議会を通じての申込をお願いします。

(2) 参加申込締切

2024年8月30日（金）必着

13 参加費のお支払いについて

(1) 参加費及び振込先口座

○ ①一般参加者2,000円 ②中学生・高校生・大学生500円（小学生以下、無料）

※ 9月17日（火）以降のキャンセルについては、参加費をお返しできませんので、予めご承知ください。

○ 下記口座に8月30日（金）までにお振込みください。

振込先銀行	北洋銀行 道庁支店
口座番号	(普) 3501702
口座名義	ふく ほっかいどうしゃかいふくしきょうぎかい かいちょう ながせ きよし 福) 北海道社会福祉協議会 会長 長瀬 清

※ お振込みに係る手数料は振込者負担になりますので、予めご了承ください。

なお、インボイス対応の領収書の発行につきましては、申込の際に備考欄にお申し出ください。

(2) 『振込依頼書』を利用する場合

○別紙「振込依頼書」を利用し、北洋銀行 本支店から振込む場合、手数料が無料です。

他行からも振込依頼書を利用し振込むことができますが、手数料は有料です。

○振込依頼書を利用する場合、記入例を参考に、振込日、金額、依頼人名義、団体名、参加者名等を入力してください。

○振込依頼書を利用する場合、「振込依頼書（A）」「振込通知書（B）」「振込金（兼手数料）受取書（C）」の3枚すべて切り取り、金融機関に提出してください。

○振込依頼書のパスワードは下記のとおりです。

《パスワード》 hokuyo0501

14 参加決定について

9月17日（火）までに申込み元の社会福祉協議会もしくは関係機関・団体宛に「参加券」をメールにて送信します。

15 宿泊について

宿泊につきましては、各自でご手配ください。

なお、宿泊施設の確保が困難な場合はご相談ください。

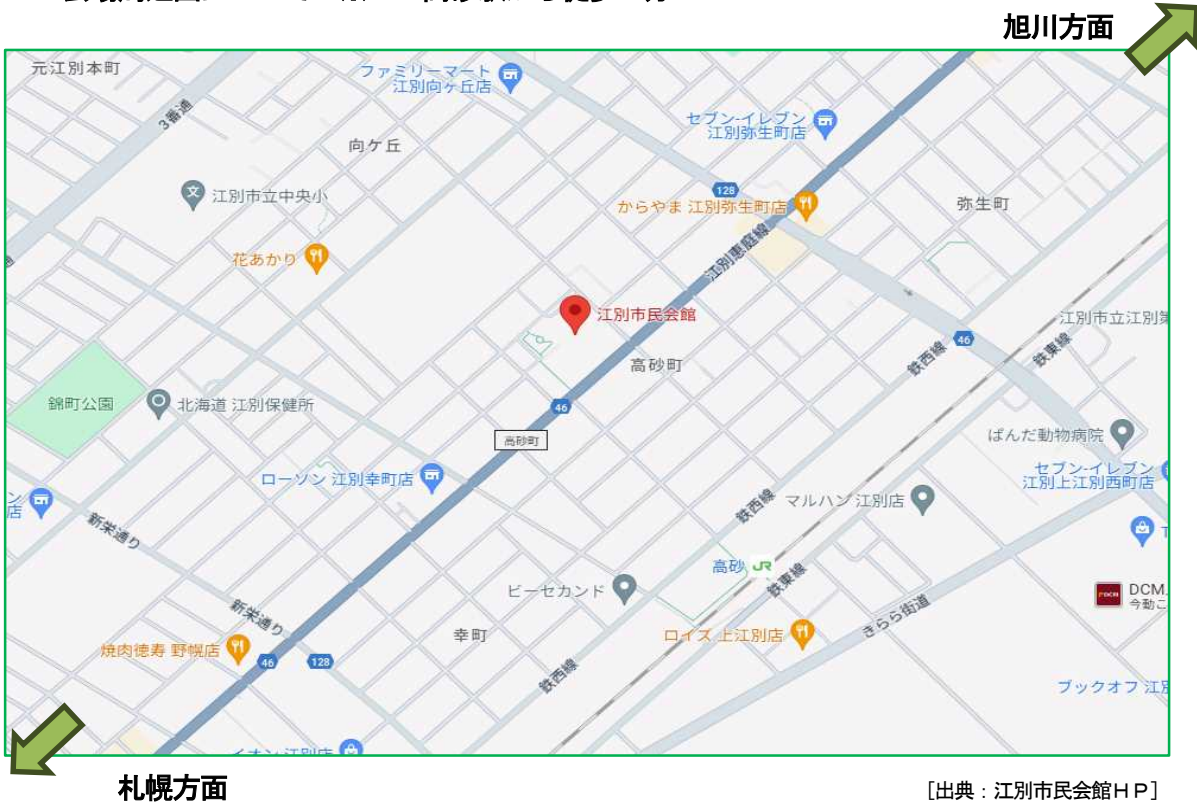
16 昼食について

昼食につきましては、原則、各自でご用意ください。

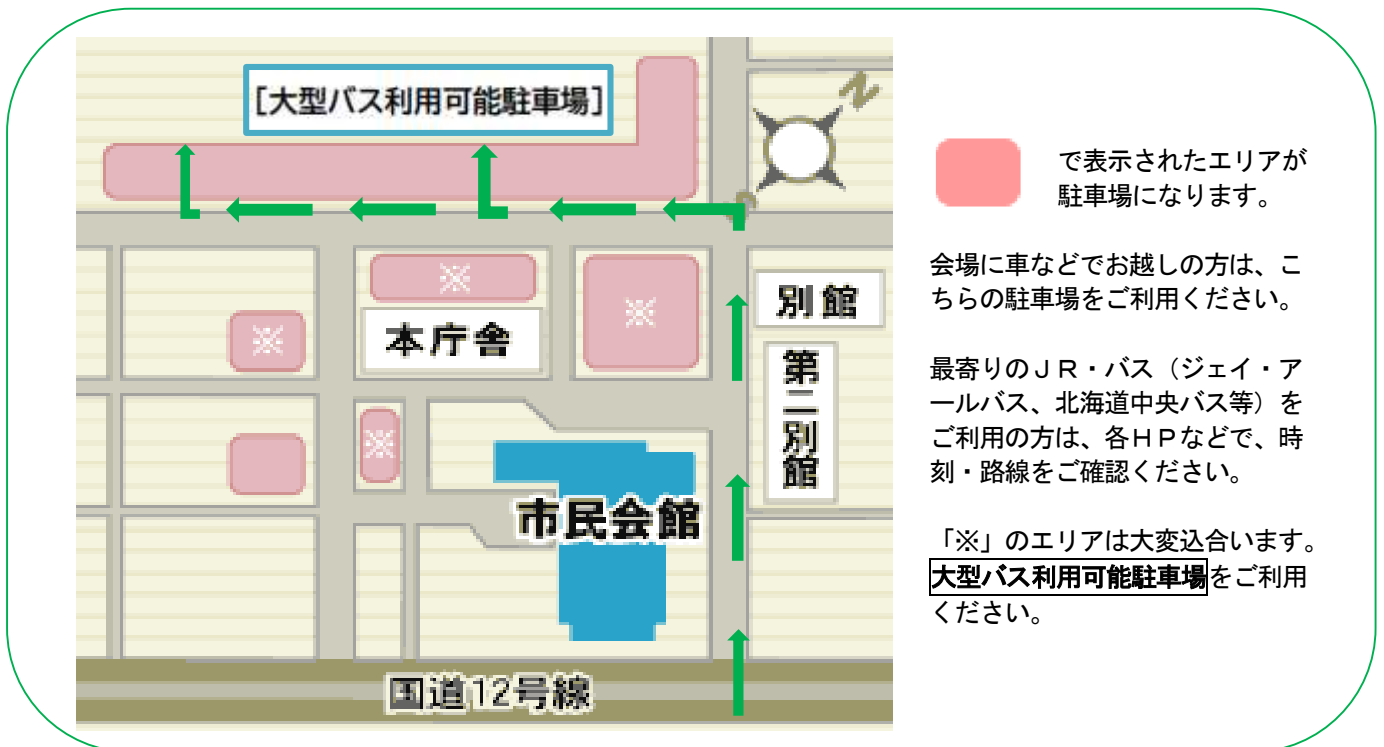
なお、会場周辺は多人数で会食を行える場所が少ないため、ご希望される場合は弁当（茶付）を1食1,300円（税込）でご用意いたします。（当日、受付で11時からお渡しします。）

ご希望される場合は、「12」の参加申込書に必要事項を記載の上、「13」の参加費と併せてお申込みをお願いします。

17 会場周辺図について ※JR高砂駅から徒歩10分



18 駐車場について



[一部引用：江別市民会館HP]

19 個人情報の取扱い

個人情報は、事業の目的を達成するために必要な範囲内で、正確かつ最新の内容を保つように努めます。また、個人情報の漏えい、滅失及びき損を防止するなど個人情報を適切に管理するとともに、保有する必要がなくなった個人情報については、確実に速やかに消去します。

20 お問い合わせ先

北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課
 北海道ボランティア・市民活動センター（担当：坂本／谷）
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでの2.7 2階
 TEL 011-271-0683 / FAX 011-271-3956 / E-mail d-vola@dosityakyo.or.jp